

(6) 質問6 (事後調査のみ)

小グループ活動を実施してどのような変化・成果がありましたか。

自分自身

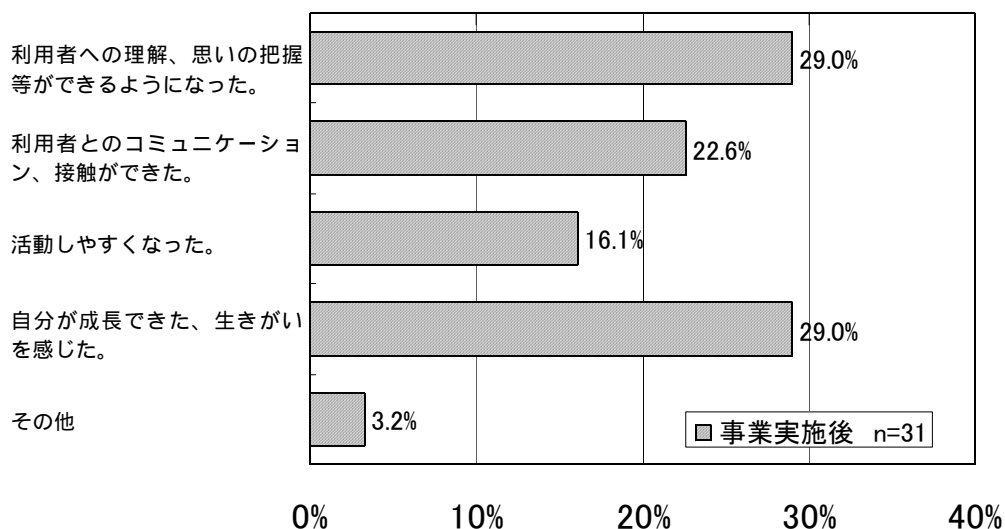
{

}

自由に記述された内容を分類すると、次のとおりとなった。

1. 利用者への理解、思いの把握等ができるようになった。
 - ・何をしてほしいのかとわかるようになった。
2. 利用者とのコミュニケーション、接触ができた。
3. 活動しやすくなった。
 - ・活動をまとめられるようになってきた。
4. 自分が成長できた、生きがいを感じた。
 - ・理論の実践に関わられたこと、明確化した目標の一部に到達できたことが自信になった。
 - ・目標達成時に地域とのつながりを持つことが出来た。(図書館へしおりを持っていった)
5. その他

職員質問6①



複数に分類した回答がある。

「利用者への理解、思いの把握等ができるようになった。」及び「自分が成長できた、生きがいを感じた。」が最も多く、29.0%となった。

(7) 質問6 (事後調査のみ)

小グループ活動を実施してどのような変化・成果がありましたか。

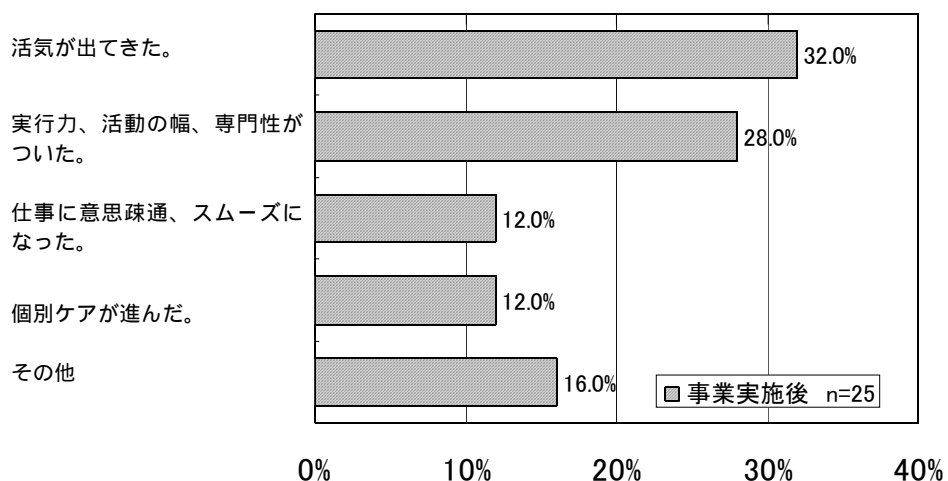
職場

[]

自由に記述された内容を分類すると、次のとおりとなった。

1. 活気が出てきた。
 - ・メリハリのある1日となり普段よりも活気づいた。
2. 実行力、活動の幅、専門性がついた。
 - ・グループ分けをする事で活動の幅ができ、時間の使い方もそれまでより上手くなった。
 - ・職場のスタッフもそれぞれがいつも決まった小グループ活動を担当する事によって要領も覚え、より専門性が芽生えてきた。
 - ・一人ひとりが責任を持てるような雰囲気が出てきた。
3. 仕事に意思疎通、スムーズになった。
4. 個別ケアが進んだ。
 - ・利用者一人ひとりを見ようとする雰囲気生まれた。
5. その他
 - ・記録の習慣ができた。

職員質問6②



複数に分類した回答がある。

「活気が出てきた。」が32.0%、「実行力、活動の幅、専門性がついた。」が28.0%となった。

(8) 質問6 (事後調査のみ)

小グループ活動を実施してどのような変化・成果がありましたか。

利用者

{

}

自由に記述された内容を分類すると、次のとおりとなった。

1. 行動に変化があった。

- ・少数の方ではあるが、家に持ち帰り家でされている利用者があり、成果があったと感じる。
- ・生活のレクリエーション化・生活のレクリエーション化を図ることができた。家でボーリングの練習をしていく人がいた。
- ・今までは、おまかせで製作してもらったものをもちえられていた方が、自分のできることを分担で作業に取り組まれていた。
- ・自分自身の力を再発見された。デイサービスを自分の場所と認識され、ご自身の私物をデイサービスに寄付していただく事が増えた。

2. コミュニケーションが向上した。

- ・最初は遠慮がちだったが、自分から進んで発言し、コミュニケーションをとる事で皆で楽しくより会話をしたり親しくすることが出来るようになった。
- ・同じグループの方向士、以前より交流が増えたり、職員との関係も深まり今まで聞けなかった事も言ってもらえるようになった。
- ・少人数ごとに職員が配置されるため互いに会話する機会が増し、利用者さんより声かけされることが多くなった。
- ・テーブルが変わる事により、友人(お話し相手)が増えた。

3. 活動意欲が向上、自主的になった。

- ・今までのデイサービスでは出来ないことが実行できて、創作意欲が向上した人もある。
- ・昔の事を思い出したり、製作する事の喜び、挑戦しようとする気持ちを実現できる喜びを知って頂けたのではないだろうか。
- ・自分から『何に参加したい。』と積極的に言われる方が出てきた。
- ・継続して同じ小グループ活動を行っていくことで利用者自らが、取り組んでいこうとする姿勢が見られた。
- ・自分のやりたい活動を自主的に選び、参加する人が増えた。
- ・自分の好きなことが見つかったと言われる方もおられ、活動をとおして自信がついたように感じる。
- ・日ごろ出来ないと言っている人でも少しでもしてみようと前向きになられていた。
- ・没頭する物ができ、活動時間以外にも楽しみが増えた。

4. 楽しみ、生きがいとなった。

- ・利用者一人一人の楽しみ、興味を持って頂くものがあり、「生きがい」となり次へとつながるきっかけとなった。
- ・自由にしたいことを選べるようになったことで、それぞれの活動を楽しめるようになった。(積極的になった。)
- ・自分で選択する事で、楽しんで参加されている。また、積極性も見られるようになり、表情も明るくなった。
- ・以前はあまり積極的に参加されない方が、徐々に活動に参加されたり、積極的になられたりしたと感じる。
- ・例えば、カラオケでは始めた頃は聞いているだけだった利用者が歌われたり、口ずさむようになり、今では大きな声で唄われるように積極的になられた。
- ・小グループ活動に馴染んで頂くまでに少々時間はかかったが、後期では皆様積極的にとりくまれました。
- ・園芸・製作では、物を作り出す喜びを実感されたのではないかと。
- ・自分の植えた球根や種が、芽を出す事に喜びがあったと思う。
- ・だんだん小グループ活動の意識が付き、その時間までにトイレをすませたりリハビリをすませたりと楽しみにされる方が多くなった。
- ・自分の好きな活動で楽しみが多くなってきたと感じる。
- ・傾眠される方や一人で居られる方が少なくなった。
- ・笑顔がみられ、表情が豊かになった。

(9) 質問6 (事後調査のみ)

小グループ活動を実施してどのような変化・成果がありましたか。

その他

{

}

主な記述内容は次のとおりであった。

- ・小グループ活動を実施していくことにより、従来のスタッフが利用者に押し付ける受動的なレクリエーションから、利用者自らがきりひらいていく能動的なレクリエーションへと少しずつ変化していった。
- ・自分から進んで「家で作ったから」と持って来てくださりとても前向きで積極的になられた。
- ・利用者の好む実施の方法が把握出来てきた。
- ・認知症等の人には理解していただけずただグループに入るだけの人もあった。
- ・ボランティアが自らも楽しみながら活動に参加することができた。
- ・ボランティア、特に定年退職後の方の力の発揮場所として場所を見つけていただいた。
- ・ボランティアとのつながり、交流も出来た。